

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	港区港南 1-8-23 ShinagawaHEART 2F
園名	ミアヘルサ保育園ゆらりんはあと

## 1 活動のテーマ

<テーマ>

SDGs

<テーマの設定理由>

草花や昆虫などの自然物に興味を持ち、探索を楽しんでいるため

## 2 活動スケジュール

10/26 自然物を遊びに取り入れる  
11/27 自然物の匂い  
1/28 香水作り  
2/20 バスボム作り  
3/13 バスボムの泡の観察/写真撮影

## 3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・給食で出たフルーツの皮を集め乾燥させておく（りんご・バナナ・みかん）
- ・すりこぎ ・すり鉢 ・スポイト ・カップ

## 4 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・好きなフルーツの皮や水をすり鉢に入れ、すりつぶす
- ・すりつぶした皮をカップに入れ香りを楽しむ

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・自分で皮や水の量を調節しながら、すりつぶすことを楽しんでいた。
- ・「まんまるがぺちゃんこになってきた」「やわらかくなってきた」「おいしいにおいになってきた」「りんごからみかんのにおいにかわった」と皮や香りの変化に気づく姿も見られた。
- ・「かいでみて」と保育者や友だちと香水のかぎ比べを楽しんでいる子もいた。
- ・「フルーツの皮でバスボムを作りたい」という子や「実験をしたい」という子がいたため、次の活動に活かしていく。



## 5 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・自分で皮や水の量を決めてすり鉢に入れたり、すりつぶしたりすることを「料理してるみたい」「実験みたい」と楽しんでいて。
- ・皮は水を入れることで柔らかくなるということに気づき、水をたくさん入れる姿がみられた。
- ・皮がかたく、なかなかすりつぶすことができなかつたため、もう少し刻んだもので行えるとよかった。
- ・“おふろ”“バスボム”“実験”という言葉がでてきたので、次のテーマに活かしたい。